



令和8年度

事業計画書

一般財団法人茨城県科学技術振興財団

1 基本方針

(1) 背景

- 本格的な人口減少・少子高齢化社会が到来し、グローバルな競争も一層激しくなる中、天然資源の少ない我が国が国際競争に打ち勝ち、今後も持続的に発展を遂げていくためには、科学・技術をはじめとする研究開発を不断に進め、新たな付加価値を創造し続ける必要があります。
- 国においては、第7期「科学技術・イノベーション基本計画（2026～2030年度）」を作成しており、我が国の基礎研究力の低下に対する対応の方向性として「科学の再興（基礎研究力の強化・人材育成）」が示されています。
- 本県には、つくば・東海における最先端科学技術、日立地区のものづくり産業、鹿島地区の鉄鋼・石油化学などの素材産業、筑波研究学園都市における研究従事者数約2万人と言われる人的資源など、我が国の科学技術をリードし、イノベーションを創出できる恵まれた資源が集積しており、こうした資源を最大限に活用することで、これまで以上に科学技術の振興・発展へとつなげていく十分なポテンシャルを有しています。
- 茨城県では、こうした資源を最大限に活用しながら、策定中の第3次県総合計画（2026～2029年度）」の将来構想（案）において、本県の将来を支え、リードする科学技術人材の育成と、将来を担う産業の創出に取り組むことを求めています。

1 基本方針

(2) 実施事業と基本方針

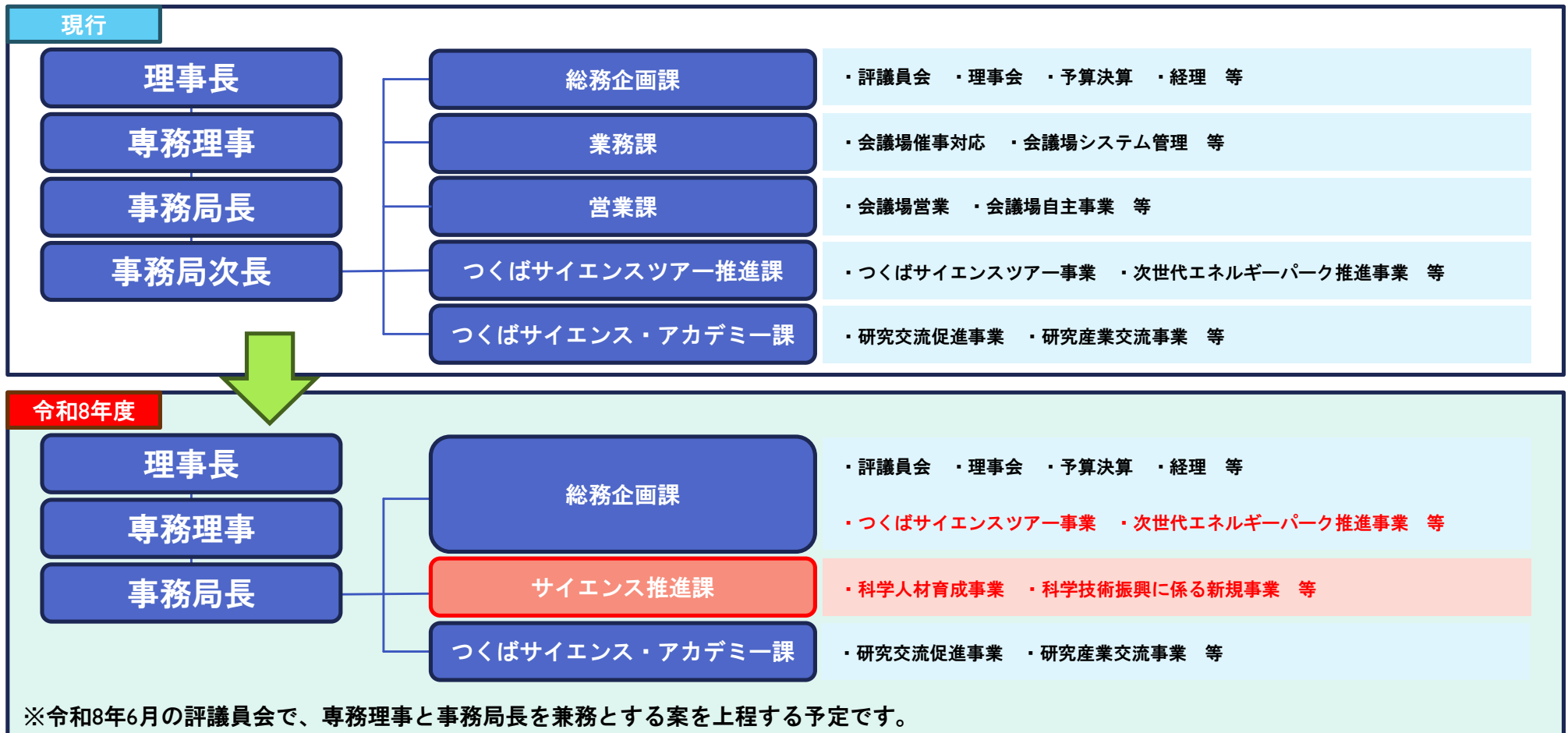
- このような背景の中、科学技術が果たすべき役割の重要性に鑑み、国や県の方針と足並みを揃え、県内の科学技術の振興に寄与することを目的として創設された当財団は、その設立の目的を達成するため、次のとおり各事業に取り組みます。

事業名	方針
(1) 研究開発奨励事業	研究開発を奨励するため、世界的に評価を受ける研究成果を収めた研究者、研究内容が実用化されるなどの成果を収めた研究者及び将来を嘱望される若手研究者を顕彰します。
(2) つくばサイエンス・アカデミー事業	「研究者相互の交流促進」・「知の触発」という設立理念に沿って、科学技術の振興に寄与します。
(3) 科学人材育成事業 【新規事業】	研究力の強化及び新たな社会を支える人材の育成を目指し、中高生と研究者の交流機会の創出や、若手・外国人研究者向けの支援を行うことで、科学人材の育成を図ります。
(4) 科学技術振興事業	県や研究機関等と連携して多分野の研究者や技術者の交流を支援するとともに、科学技術の普及啓発及び技術支援等を実施します。

1 基本方針

(2) 実施事業と基本方針

- つくば国際会議場管理運営事業の終了と新規事業である科学人材育成事業の実施に伴い、財団組織を変更します。



2 事業の内容

(1) 研究開発奨励事業

■ 「江崎玲於奈賞」「つくば賞」「つくば奨励賞」

県内科学技術の振興及び産業の発展に寄与するとともに、本県の科学技術の水準を広く全国にPRするため、関彰商事株式会社、県及びつくば市の支援を受けて、優れた研究実績を挙げた研究者を顕彰し、研究開発事業の創出促進を図ります。

名称	目的	対象者	贈呈品
江崎玲於奈賞	日本国内の研究機関において、ナノサイエンスあるいはナノテクノロジー、または量子効果が顕わに関わる物性に関する研究に携わり、顕著な研究業績を挙げた研究者を顕彰することにより、科学技術の振興、ひいては県内産業の活性化に寄与する。	日本国内の研究機関においてナノサイエンスあるいはナノテクノロジー、または量子効果が顕わに関わる物性に関する研究に携わり、世界的に評価を受ける顕著な研究業績を挙げた研究者、原則1名	賞状 副賞（1,000万円） 賞牌
つくば賞	県内において科学技術に関する研究に携わり、顕著な研究成果を収めた研究者を顕彰し、創造的な研究活動を奨励することで、本県の科学技術振興、ひいては県内産業の活性化に寄与する。	基礎・応用・開発を問わず理工学及び生命科学などの研究分野に携わっている個人またはグループで次のいずれかに該当する者。（共同研究の場合はその研究に対する貢献度合いが候補者各々が1/3以上である者を表彰の対象とする。） ・本県内において現在研究活動をしているか、または過去に研究活動をしたことのある研究者であって、世界的に評価を受ける優れた創造的研究・開発成果を挙げた者。 ・世界的に評価を受ける特に優れた創造的研究・開発成果を挙げた研究者であって、その内容を本県内で開催された国際学会において初めて発表した者。	賞状 副賞（500万円） 賞牌
つくば奨励賞	県内において科学技術に関する研究に携わり、一定の研究成果を収めた研究者若しくは将来を嘱望される研究者を顕彰し、創造的な研究活動を奨励することで、本県の科学技術振興、ひいては県内産業の活性化に寄与する。	基礎・応用・開発を問わず理工学及び生命科学などの研究分野に携わっている個人またはグループで次のいずれかに該当する者で、科学技術の振興に貢献が期待できる者。 【実用化研究部門】 本県内において現在研究活動をしているか、または研究活動をしたことがある研究者であって、その研究成果が実用化される等、優れた創造的研究・開発成果をあげた者。（共同研究の場合はその研究に対する貢献度合いが1/3以上である者を表彰の対象とする。） 【若手研究者部門】 本県内で現在研究活動をしている若手研究者（40歳以下）であって、今後飛躍的な研究成果が期待できる研究者1名。（共同研究の場合はその研究の主たる研究者であり、その貢献度合いが1/2以上である者を表彰の対象とする。）	賞状 副賞（100万円） 賞牌

2 事業の内容

(1) 研究開発奨励事業

■ 江崎玲於奈賞受賞者と県内高校生との交流事業

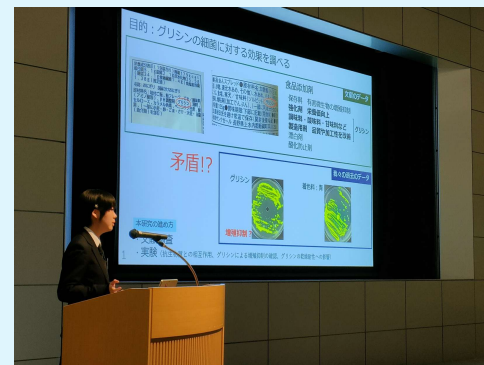
県内高校生向けの事業として、江崎玲於奈賞等授賞式・受賞記念講演会へ招待するとともに、受賞者研究施設の見学会の開催や、歴代の江崎玲於奈賞受賞者を講師とした交流会を行うことで、参加高校生の科学への興味・関心の向上を図ります。



江崎玲於奈賞等授賞式
受賞記念講演会



江崎玲於奈賞受賞者
研究室見学会



江崎玲於奈賞受賞者
との科学交流会

2 事業の内容

(2) つくばサイエンス・アカデミー事業

■ 研究・交流促進事業

つくば市の研究者を中心に組織されているつくばサイエンス・アカデミー（SAT）が、研究者の交流促進や科学・技術に対する社会の関心を高めるため、交流会や講演会の開催、啓発活動などを実施します。

「SATフォーラム」

会員やその家族、一般の参加も広く呼びかけ、最先端の研究や話題の研究者を招いてフォーラムを開催します。

- 日程：令和8年6月29日（月）
- 場所：つくば国際会議場 Leo Esakiメインホール
- 講師：京都大学理事・副学長/高等研究院特別教授 北川進先生
- 演題：未定



「SATつくばスタイル交流会」

広く会員以外の方にも参加を募り、講演会や音楽鑑賞会を開催して、SATの周知と市民との交流を促進する。

- 日程：令和8年11月
- 場所：つくば国際会議場 中ホール200
- 講師：物質・材料研究機構 フェロー 高田 和典氏
- アート：未定



2 事業の内容

(2) つくばサイエンス・アカデミー事業

■ 研究・交流促進事業（つづき）

「サイエンス・シニアサロン in Tsukuba」

退職したシニア研究者・技術者あるいはサイエンスに関心のある方々を対象にしたサロンを開催し、講師が様々な研究分野の話題について、自由な討論を通じて参加者の知的触発や人的交流を図る。



「研究情報交流会」

テーマを決めた少人数での交流会。2、3人の研究者が、その回のテーマに関連した研究状況を報告、これをもとに異分野研究者と忌憚のない意見交換を行い、新しい発想につなげる。



「つくば科学・技術産業イニシアティブの共催」

異分野交流事業の強化・拡充を図るため、科学・産業イニシアティブ主催の異分野交流事業「つくば科学・技術産業イニシアティブ」について共催事業として開催する。

2 事業の内容

(2) つくばサイエンス・アカデミー事業

■ 研究産業交流事業

つくばをはじめ首都圏などで活躍する研究者・技術者が、最新の研究成果、アイデア、技術を相互に披露し交流する、つくばならではの交流事業として、「SATテクノロジー・ショーケース」を実施しています。

「SATテクノロジー・ショーケース」

つくばをはじめ首都圏などで活躍する研究者・技術者が、最新の研究成果、アイデア、技術を相互に披露し交流する、つくばならではの交流事業です。

■ 日程：令和9年1月（予定）

■ 場所：つくば国際会議場

■ 主催：つくばサイエンスアカデミー

■ 企画・運営：SATテクノロジー・ショーケース2027実行委員会

■ 協力機関：農業・食品産業技術総合研究機構



■ 広報活動

「会報の発行（年2回）」 「ホームページの運営（<https://www.science-academy.jp/>）」

2 事業の内容

(3) 科学人材育成事業【新規事業】

■ 中高生科学人材育成事業

県内をはじめ全国の中高生を対象に、研究者を講師・審査員とした学習プログラム、研究室見学、コンテスト等を行うことで、科学に対する興味・関心を向上し、次世代の科学者の人材育成を図ります。

「つくば Science Edge」

2026年度で17回目を迎える国際的なアイデアコンテストで、国内外から2,000名を超える参加者があります。科学者の先生方がその内容を審査し、的確に評価することで、中高生の科学技術への興味関心を高めるイベントです。厳正なる審査を行い、最も優秀な発表を行ったチームには、文部科学大臣賞が贈られます。

- ・日程：令和9年3月
- ・場所：つくば国際会議場



「サイエンスキャスティング」

中高生を対象として、当財団と連携協力体制にある研究機関や民間企業等の実際の最先端研究現場を体験し、その成果を発表する一泊二日の教育プログラムです。実践的な学びと研究者や他校生徒との交流を通じて、科学技術分野への興味・関心を一層深めてもらうとともに、次世代の科学人材の育成を図るイベントです。

- ・日程：令和8年8月
- ・場所：つくば国際会議場・各研究所・大学



2 事業の内容

(3) 科学人材育成事業【新規事業】

■ 中高生科学人材育成事業（つづき）

「中高生・研究者『つなぐ』事業」

全国の中高生を対象に、希望分野の研究者を講師を紹介し、オーダーメイド型の学習を提供します。教育現場に向けて、サイエンスやSDGsに興味をもっている学校に対し、探求学習の一環として、ノウハウやスキルの育成、企業や研究者との交流の場や社会との接点を提供する“つくばならではの”コンテンツとして『つなぐ』事業を展開します。

「つくば賞受賞者研究室訪問事業」

県内の高校生が、つくば賞又はつくば奨励賞の受賞者の研究室を訪問し、実際の研究に直に触れる機会を創出します。

■ 若手研究者・外国人研究者支援事業

「若手研究者交流事業」

若手研究者の持続的な研究意欲向上のため、研究発表会と異分野の若手研究者同士や市民も加えた交流会を実施します。

「外国人研究者支援事業」

外国人研究者や留学生を対象にした、生活環境向上・定住促進のための伝統文化体験や生活習慣教室を実施します。

■ 科学技術の振興に係る新規事業の獲得に取り組めます。

2 事業の内容

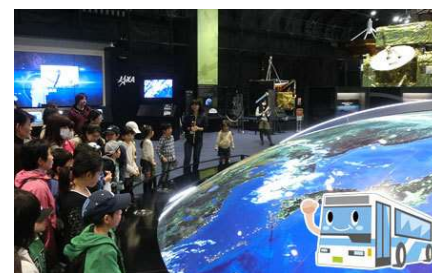
(4) 科学技術振興事業

■ つくばサイエンスツアー推進事業

筑波研究学園都市に集積する研究機関等を貴重な地域資源として捉え、37機関51施設の研究機関等と連携し、施設公開・開放の促進を行い、県内外からの見学・学習の場として活用するとともに、科学技術の普及啓発を図る事業です。窓口や電話による案内、コース提案に加え、県内外に対するP R活動を実施し、土日祝日に研究学園都市内の研究機関を巡回する「つくばサイエンスツアーバス」の運行を支援しています。

<つくばサイエンスツアーバスの概要>

実施主体	関東鉄道株式会社
運行支援	つくばサイエンスツアー実行委員会（茨城県、つくば市、研究機関等）
事務局	茨城県産業戦略部技術振興局科学技術振興課
経費負担	茨城県、つくば市、実行委員会会員
運行方法	大型路線バス1台で運行
停車箇所	つくば駅発着で土日祝日に開館している6つの研究施設等を北回り・南回りの2コースで循環。平成25年11月からラッピングバスを運行。
運行本数	土日祝日：1日 9 便（北回り5便、南回り4便） ※夏休みは特定期間のみ月曜日を除き毎日運行 （期間は年により異なる。今年は7/19（土）～8/17（日）運行）
利用料	区間運賃 大人190円～320円 子供（小学生100円～160円）

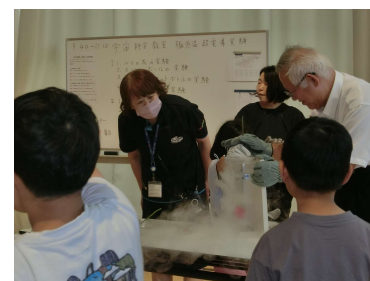


2 事業の内容

(4) 科学技術振興事業

■ つくばサイエンスツアー推進事業（つづき）

活動内容	
①	研究機関等の見学案内
②	広報事業の実施 ・パンフレット、ガイドブック等の作成、配布 ・ホームページや各種SNSによる情報発信 ・旅行会社及び学校等教育関係機関へのPR活動 ・各種イベント等への出展 ・県、つくば市の誘客事業への協力等
③	サイエンスツアーバス特別イベントの企画、実施
④	つくばサイエンスツアーバスの運行支援
⑤	研究機関との連携によるイベントの実施
⑥	教職員研修視察へのガイドツアーの実施
⑦	地元観光業関係機関等との連携



2 事業の内容

(4) 科学技術振興事業

■ 茨城県次世代エネルギーパーク推進事業

茨城県次世代エネルギーパーク推進協議会からの受託により、施設見学者の受入れ拡大と併せ、県内に集積する発電施設や研究機関等を県内外からの見学・学習の場として活用し、次世代エネルギーの普及促進及びエネルギー教育機会の創出を図っています。

< 次世代エネルギーパークの概要 >

事業協力機関	「県南・県西地区」「県北・県央地区」「鹿行地区」の3地区・15施設 < 県南・県西地区 > ①産業技術総合研究所 地質標本館 ②産業技術総合研究所 AIST-Cube ③高砂熱学工業（株） 高砂熱学イノベーションセンター ④積水ハウス（株） 積水ハウス エコ・ファースト パーク ⑤（株）ウィンド・パワー・グループ ウィンド・パワーつくば風力発電所 < 県北・県央地区 > ⑥東京ガス（株） 日立LNG基地 ⑦（株）日立製作所 日立オリジンパーク ⑧（株）日立パワーソリューションズ 大沼工場 ⑨（株）バイオパワー勝田 木質バイオマス発電所 ⑩北越コーポレーション（株） バイオマス発電施設 < 鹿行地区 > ⑪サミットウィンドパワー（株） 鹿嶋風力発電所 ⑫日本製鉄（株） 東日本製鉄所鹿島地区 ⑬（株）ウィンド・パワー・グループ ウィンド・パワーかみす第1・第2洋上風力発電所 ⑭（株）ウィンド・パワー・グループ ウィンド・パワーはさき風力発電所 ⑮（株）カネカ 鹿島工場西地区大規模太陽光発電所
インフォメーションセンター	平成20年10月に、つくば国際会議場内にある「つくばサイエンスツアーオフィス（現つくばサイエンスツアー推進課）」に設置し、案内業務を実施



2 事業の内容

(4) 科学技術振興事業

■ 茨城県次世代エネルギーパーク推進事業（つづき）

活動内容	
①	次世代エネルギー施設の見学案内
②	広報事業の実施 ・パンフレット、ガイドブック等の作成、配布 ・ホームページによる情報発信 ・旅行会社及び学校等教育関係機関へのPR活動 ・各種イベント等への出展
③	親子見学会の実施



■ 科学の甲子園エキスカーション事業

科学の甲子園全国大会つくば実行委員会からの受託により、科学の甲子園全国大会参加のためにつくば国際会議場に集まった各都道府県代表高校及び科学の甲子園ジュニア全国大会優勝チーム（中学生）1チームを対象として、つくば市内及び近隣市の研究教育施設を見学するエキスカーションを企画・実施します。

